小原和紙で

なにか　いいアイデアがわきそう！

ひらめき　わくわくぼうし



小原中部小学校　１・２年

ねらい

自分の作りたい帽子のイメージをもち、

多種多様な材料から自ら選択し、自由な発想で帽子を作ることができる。

材料

厚紙・画用紙（帽子の芯用）

和紙の廃材



セロハンテープ

ストロー

梱包材（プチプチ）・折り紙

風船・モール

などの身近な素材

この単元の魅力

- 小原ならではの、子どもたちが制作した和紙作品から出た廃材を使用しており、SDGsやエコの観点も学ぶことができる。
- 芯に和紙の廃材を巻いていくため、どの子も安心して取り組め、作品として形になる。
- 様々なアレンジができるため、子どもたちの個性が楽しめる。
- 多種多様な材料があることで、帽子の一般的な概念にとらわれず、自由な発想をもちやすい。



和紙の端切れを垂らしてみたよ。

学習過程（全３時間）

（２時間）デザインや使いたい材料を考え、イメージに合わせて帽子をつくる

①　子どもたち一人ひとりが自分の理想の帽子の形（芯）をつくる。

②　①に和紙の端切れや画用紙などを自由に巻き付けたり、貼り付けたりして、帽子のベースをつくる。

③　②に図工室にある様々な材料や、身近な素材をくっつけてアレンジする。

（１時間）つくった帽子をかぶってファッションショーをする（鑑賞会）

制作の様子

＼どんな材料を使おうかな？／





＼形はどうしようかな？／





＼組み合わせると、いい感じ！／









＼できたよ♪自分だけの特別な帽子！／







